

千住カレンダー 2013秋

10月

- 1 大千住展プレ展示 (9月29日～10月20日)
- 6 ぶらり酒散歩
- 7 千住いえまちまちヨガ
- 12 未来楽器図書館スタート (12月8日)
- 13 A-Festa あだち区民まつり
- 17 同時開催 あだちサークルフェア
- 14 雨のみ北千住
- 15
- 19 Memorial Rebirth千住 2013常東
- 20 タートルマラソン
- 23 SENJUX 銭湯隊!
- 25 千住いえまちまちヨガ
- 28 天空寄席スペシャル
- 30 千住歴史大全スタート (11月14日)

11月

- 1
- 2 帝京科学大学 桜科祭
- 3 東京電機大学 旭祭
- 4 千住の黒装束
- 5
- 6 大千住展スタート (26年1月26日)
- 9 柳原音楽祭
- 13 千住たじやれ音楽祭
- 16 ブルーススタジオ「海外で認められた映画シリーズ」スタート (12月24日)
- 17 千住いえまちまち歩き
- 22
- 23 シアター1010 「渇いた太陽」
- 24
- 27 SENJUX銭湯隊!

12月

- 1 石洲美術館 マイセン展 (9月7日～12月15日)
- 13 天空劇場 えんチャレシリーズ「アコギでゴー!」
- 14
- 15 東京藝術大学 千住 Art Path
- 21
- 22
- 23
- 24
- 25
- 26
- 27
- 28
- 29
- 30

2～23は裏のマップでも確認できるよ!  
※5、6、8は広域イベントのため掲載なし



千住地域を舞台に、アートをもちいて新たな緑を生み出す、まちなかアートプロジェクト。  
▼ 10月19日(土) 16時/19時開演 (雨天実施、荒天中止) @千寿常東小学校 (千住旭町 10-31) 無料

1500万個のシャボン玉の世界

大巻伸明「MemorialRebirth千住2013常東」  
見慣れたまちなかが一瞬にして光の風景へ。



未来の楽器に触れて来よう!

未来楽器図書館12  
音楽家やアーティストが考案した「未来の楽器」が商店街の音う風景(元お豆腐屋)に集合!



だじゃれ×インドネシア語×ガムラン!?

野村誠「千住だじゃれ音楽祭」  
11月10日(日) 17時半開演 @東京藝大 千住キャンパス (千住1-25-1) 要予約



「アートアクセスあだち 音まち千住の緑」事務局

発行:足立区広報室シティプロモーション課 協力:足立区商店街振興組合連合会  
〒120-8510 足立区中央本町1-17-1 e-mail:city-pro@city.adachi.tokyo.jp tel:03-3880-5803

千住3劇場 秋のオススメ

シアター1010 (北千住マルイ11階) 14

豪華キャストで贈る愛憎の人間ドラマ!  
「渇いた太陽」  
出演:浅丘ルリ子、上川隆也ほか  
11月22日(金) 14時開演  
11月23日(土) 12時、16時半開演  
11月24日(日) 13時開演  
¥全席指定:8500円  
足立区民割引:7800円  
☎03-5244-1011

天空劇場(千住1-4-1 東京芸術センター21階) 15

「漫才協会若手会 天空寄席スペシャル」  
10月28日(月) 18時開演  
※定員400名  
先着順、直接会場へ  
¥全席自由:無料  
☎03-3880-5985 (足立区地域文化課)

ブルーススタジオ(千住1-4-1 東京芸術センター2階) 16

羅生門ほか、戦後の名作を今!  
「海外で認められた映画シリーズ」  
11月13日(水)～12月24日(火)  
¥全席自由:1000円  
☎03-5354-4388  
「羅生門」監督:黒澤明 (C)1950角川書店



10月30日(水) 11月14日(木) 9時～19時 @電大ギャラリー (北千住東口1分) 無料

11月1日(金) 11月5日(火) @シアター1010 ギャラリーB (北千住マルイ11階) 無料

12月15日(日) 14時～15時半 @学びピア21 (足立区千住 5-13-5) 無料  
なぎら健彦来たる!  
なぎら健彦トークイベント  
「あたしが千住に惚れた理由」  
要申込、詳しくは足立区立図書館HPで



2013.10～12月 秋は千住がオモシロイ!!

下駄履きで行けるクラシックコンサート

第21回柳原音楽祭 9  
11月22日(金) 14時開演  
11月23日(土) 12時、16時半開演  
11月24日(日) 13時開演  
¥全席指定:8500円  
足立区民割引:7800円  
☎03-5244-1011

千住の銭湯をめぐろう

SENJUX 銭湯隊! 10  
10月23日(水) 18時半～旭湯  
11月27日(水) 18時半～緑湯  
千住にある11軒の銭湯を毎月1軒巡ります。銭湯クイズと演奏も!  
¥参加費無料 (入浴料は実費負担)  
お問い合わせ 後CAN ☎03-5284-7107



11月6日(水) 26年1月26日(日) 無料

11月1日(金) 11月5日(火) @シアター1010 ギャラリーB (北千住マルイ11階) 無料

12月15日(日) 14時～15時半 @学びピア21 (足立区千住 5-13-5) 無料  
なぎら健彦来たる!  
なぎら健彦トークイベント  
「あたしが千住に惚れた理由」  
要申込、詳しくは足立区立図書館HPで



2013.10～12月 秋は千住がオモシロイ!!

うまい話がある!

10月12日～15日(土、日、月(祝)、火) @千住エリアの参加飲食店等 30店以上!

千住酒合戦主催ぶらり酒散歩 6

10月6日(日) 13時～17時 @千住エリアの参加飲食店等 9店舗  
¥参加費:4500円 (定員300名、先着順、事前購入)  
お問い合わせ 日本酒番 七色 ☎03-3888-0776  
Twitter: https://twitter.com/Nihonsyu1Suki

千住酒

11月17日(日) 13時～16時 @千住 掃部宿エリア  
詳細はホームページ「千住いえまちプロジェクト」へ http://1010iemachi.jp/

千住を知るなら 郷土博物館へ!

大千住展

高校生以上200円 70歳以上無料

大千住 保存版

2013年10月～12月イベント情報付

千住は宿場町だった!  
江戸時代の千住は、江戸四宿の1つでした。四宿は、江戸から地方へ延びる街道の最初の宿場町で、旅に出る人にとっては旅立ちのまち、江戸の人にとっては近郊の遊び場として賑わいました。

大千住って?

若し千住に暮らした森田の著書の中にもある「大千住」という言葉は、明治期から昭和初期まで使われたよう。宿場町時代の繁栄がその後も続いたことを伝える「大千住」の呼び名は、南北千住をまたいだ広いエリアを指したようです。このマップでは、隅田川より北側の千住を紹介し、

## 酒場のまち

1000円札1~2枚でも気軽に飲める大衆酒場のメッカ、千住。魚を扱う足立市場に近い立地ならではの安くウマイ店の数々。昔から酒場が充実している土地柄だけど、近年は、地元の若い世代がオーナーとなって、古い建物をカッコよく使った飲み場も多数。



## 銭湯のまち

銭湯研究者をして「銭湯のゴールドトライアングル」と言わせる、銭湯の密集地域、千住。歩いて回るエリアに今も11軒もの銭湯があるというだけでなく、キングオブ銭湯と呼ばれる大黒湯や、緑側から眺める庭が素晴らしいタカラ湯他、個性的な銭湯も数多い。今話題の「富士山」を、銭湯の湯船から眺めるのも一興。散歩の帰りに立ち寄ってみて。



## 商店街のまち

江戸のころから市場があって、流通のまちだった千住。今も高いのまちとしての顔は健在。賑やかな商店街を歩くと、量販店では見つけられないユニークなグッズや美味しいものが発見できる。



## 川と路地のまち

花火で有名な荒川が、人工の川だをご存知でしたか？ 隅田川(当時は荒川と呼んだ)の度重なる洪水を避けるため、大正期から昭和初期にかけて、人の手で掘られたのが現在の荒川。その広々とした荒川と、今も風景の美しい隅田川、2つの川にはさまれたまちが千住。江戸期からの町割を継承して路地が多く、散歩が楽しい。ただし、路地は生活と隣り合わせなので、静かに歩きたい。



## 宿場町のなごり

江戸期、宿場町だった千住には今もこここに宿場町のなごりが残る。江戸期の商家、紙問屋だった横山家や、「どぶ板で名倉しめしたと駕籠で来る」と川柳にも詠まれたほづきの名医、名倉医院(現在は整形外科)。また、旧街道に面して、間口が狭く奥に長い町割と路地は、他の地域にあまり残っていない貴重な風景だという。路地のなかには蔵も見られる。

## 昭和の風景

江戸、明治、大正、昭和、平成と、それぞれに賑わってきた千住には、昭和の風景もたくさん見つけられる。

## 千住の魚河岸

江戸時代には野菜の市場(やっちゃんば)として江戸の流通になった千住大橋ふもとのあたり。今では、都内唯一の水産物専門の中央卸売市場、足立市場として、魚屋さんや飲食店の主人たちを迎える。プロ向けの市場だが、市場内の食堂、昆布や鰻節等の食材やプロの道具等を扱う関連事業者様は、一般の人でも利用できる。珍しいものが市場価格で入手できるかも。



地図中の番号は2013年10月~12月のイベント開催場所です。おもてのイベント案内を見てね!



**お化け煙突のあった場所**  
見る方向により本数が違って見えることから「お化け煙突」と呼ばれた東京名物。昭和39年まであった

**隅外の大正記念道碑**  
千住ゆかりの森崎外が書いた文が刻まれている

**石洞美術館(千住橋戸町23)**  
千住金属工業の社長だった佐藤千高氏のコレクションを中心に、世界各地のやまの、漆器、仏教美術などの展示会を開催

**橋戸稲荷神社**  
本殿(内側)に江戸の左官の名工、伊豆長八作のこて絵が残る。普段はレプリカが見られる

**奥の細道矢立初めの碑**  
1689年、松尾芭蕉が「奥の細道」に旅立ったのが千住。「行春や鳥鳴魚の目は涙」という句をここで詠んだ

**千住大橋**  
隅田川に最初にかけられた橋。現在の橋は昭和2年竣工

**千住宿歴史プチテラス**  
江戸期の蔵を改装してつくったギャラリー

**やっちゃんば**  
市場へ行く荷物の跡のんびりした散歩道に、やっちゃんばは江戸時代の青物市場の通称

**足立市場**  
プロ向けの鮮魚市場

**千住七福神**  
縁起のいい七福神をぐるっと巡ると2~3時間。正月にはご朱印ももらえる

**ノスタルジックな駅舎**  
金八先生の舞台となった桜中学の校舎が今は大学に